

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆都市部の主要下水管、定期点検を義務付け 国交省が方針

・埼玉県八潮市の交差点で道路が陥没した事故を受け、国土交通省は自治体に義務付ける下水管の定期点検の対象を拡大する方針。現在は腐食しやすい構造の管路について5年に1回以上の定期点検を求めている。利用人口が多く破損時に影響が大きい都市部の主要管路も対象に追加することを検討する。

◆60代前半の6割「給与下がった」 自己肯定感低下へ

・パーソル総合研究所は60代の就労実態調査を発表。正社員として20年以上勤務した60代前半の人のうち6割が「給与・賞与が下がった」と回答し、自己肯定感や会社への忠誠心の低下につながることがわかった。労働力不足が深刻化するなか、シニア社員の能力を十分に引き出す仕組みづくりが課題に。

◆金融庁、株主総会の日程「後ろにずらして」 企業は慎重

・金融庁は企業が有価証券報告書(有報)を株主総会前に開示するのを促すため、総会の開催時期を後ろにずらすことを推奨する。「6月総会」が多い3月期決算企業には7月以降への変更を促す。企業側は株主配当や取締役の人事などに支障が出かねないとして慎重な姿勢を崩していない。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆ダイキン十河会長「トランプ政権、企業体質強化の好機」

・ダイキン工業の十河政則会長兼最高経営責任者(CEO)は神戸市で開催中の「関西財界セミナー」の会場で取材に応じ、トランプ氏の米大統領就任について「当社の体質を強化するチャンスだ」と指摘。米国に製品を送る上で高関税を課せられることで、差異化に向け営業やサービスで付加価値を高める必要に迫られるとみる。

◆「ハイグレード仕様」でZEHの高断熱化進む けん引役は依然大手

・経済産業省と環境共創イニシアチブは24年度のネット・ゼロ・エネルギー・ハウス実証事業について調査発表会を開いた。2024年度の戸建住宅ZEH化等支援事業では「ハイグレード仕様」の新設もあり、外皮性能向上と蓄電池の普及という2つの傾向が明確に。工務店と大手ハウスメーカーとの差が依然大きいことが課題。

◆ダイキン、冷蔵ケースの消費電力半減 扉付き冷氣逃さず

・ダイキン工業はスーパーなどで使われる冷蔵ショーケースの消費電力を半分以上に減らす技術を開発。内壁に冷媒を張り巡らせ、壁を冷やすことで庫内全体を冷却。ガラス扉を付けて冷氣が逃げのを防ぐ。電気代の高騰に悩む小売店も多く、需要をみて事業化を検討。サービス産業向け展示会「HCJ2025」で公開。

《 注目商品 》

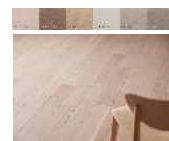
■リンナイ、浴室暖房乾燥機をモデルチェンジ

・浴室暖房乾燥機にプラズマクラスターのイオン濃度を高めたプラズマクラスター25000を搭載。「浴室イオンコース」の高い浄化力が、ピンクぬめりの原因菌や浮遊カビ菌を抑制。予約機能を設定すれば入浴後の自動運転が可能となり、浴室を清潔に保てる。



■朝日ウッドテック、低彩度な色合い6色を追加

・愛犬の床の滑りに配慮した天然木フローリング「Live Natural for Dog」のマンション直貼り商品に、低彩度な微着色を施した新ラインナップを追加。豊かな天然木の質感はそのままに淡くやさしい色合いを表現した商品。「ドライオーク」「ドライウォルナット」など6色。



■Keiden、操作が選べる電子錠 ハイブリッド電子錠「PasCa(パスカ)」

・非接触型ICカード錠「Fe-Lockシリーズ」にタッチパネルを搭載したハイブリッド電子錠。ICカードでの認証に加え、テンキー入力による暗証番号での認証が可能に。1日限定で使用する「1Day暗証番号」、カード紛失等に対応「緊急用暗証番号ワンタイムキー」なども。

